

第三者評価結果

①第三者評価機関名

評価機関認証番号：石川県06-007
株式会社 寺井潔ソーシャルワーカー事務所

②事業者情報

名称： すまいる、メゾン・ド・つばき	種別： グループホーム
代表者氏名： 片岡 正子	定員(利用人数)： 27名
所在地： 石川県野々市市中林4丁目120番地	

③総評

◇特に評価の高い点

- 法人理念は、「明るく開かれた精神科医療（福祉）をめざし『人権擁護の精神』を尊重し社会福祉法人としての伝統と、人間愛の精神を持って運営」であり、事業所内に掲示してある。また、法人のリーフレットに事業所の運営方針として「入居者の意思と人格を尊重し、常に入居者の立場に立ってサービスを提供します」と明示されている。そして、基本方針は、運営規定第2条に「運営の方針」として明記されている。
- メンタルヘルスポランティア養成講座や小中高生への出前講座などの自立支援協議会活動へ積極的に参加している。また法人としての講演会の開催や地域の活動への参加、そして相談支援事業所が併設されていることで、地域情報を十分に把握できるなど、地域との交流と連携が確保されている。
- 個別支援計画作成マニュアルがあり、アセスメントは利用開始時には「グループホーム入居に関する調査書」で利用者のADLや生活状況、希望などについてアセスメントしている。利用者の課題や支援の内容などを職員会議で検討し、個別支援計画をまとめ上げている。見直しは利用者の確認のもとに、利用者の希望を記載する書式となっている。検討会議には利用者が検討会議に参加してもらうこともある。検討の際には利用者のニーズに沿って、本人に変わることを強く求めないことを注意しつつ、できているところに着目し今の本人を認めながらエンパワーメントの理念に基づいた利用者本位の計画を作成している。
- 利用者の主体的な活動を尊重し、グループホームは自主管理となっている。月に一度の懇談会や井戸端会議を開催し、また、必要に応じテーマごとに利用者が集まり、職員と一緒に協議しながら生活している。

◇改善を求められる点

- 中長期計画は、現在法人として作成中である。今後中長期計画が作成されることで、法人の目標を明確にし、その実現のために組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成等に関する具体的な計画が整備されることが望まれる。
- 緊急時対応マニュアルが確認できない。例えば、「緊急時を想定したシュミレーション」や「一次救命措置」など既存の文書をマニュアルとして整理していくことと、マニュアルを定期的に見直していく取り組みが望まれる。
- 通過型のグループホームのため、直接的な介護サービスの提供はないが、生活支援として、利用者の生活指導やメンタルヘルス等の支援を行っている。サービスが適正に提供されているのは各種記録により確認できる。また、提供しているサービスについては管理者を中心に毎朝のミーティングや職員会議をつうじて検証が行われている。しかし、支援の標準的な実施方法について文書化はされていない。サービスの平準化のためにもマニュアルを作成し、マニュアルに基づく研修を行い、サービス提供後にマニュアルの検証を行うというPDCAサイクルに取り組んでいただきたい。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

PDCAサイクルを意識した業務、支援を実施していたが、支援の標準的な実施方法のマニュアルは作成していなかった。他事業所との研修会や職員会議を通して、当事業所に合ったマニュアルを作成していきたい。

今回、第三者評価を受けたことで主観的評価と客観的評価の違いを学ぶことができた。いくら自分達が理念や目標に沿った行動をしていたとしても、それを第三者に示すことができなければ利用者や家族にも理解してもらえないと思う。今後の課題としたい。

⑤評価細目の第三者評価結果（別添）